

(様式第4号)

上田中央地域協議会 会議概要

1 審議会名	上田中央地域協議会
2 日時	令和元年12月6日(金) 午後1時30分から午後4時30分まで
3 会場	中央公民館 2階 会議室
4 出席者	天田委員、伊藤委員、岡部委員、金井委員、小林委員、瀬下委員、谷藤委員、 中澤(純)委員、中澤(健)委員、成澤委員、樋村委員、古川委員、 松田委員、丸山委員、宮本委員、柳沢委員、山浦委員
5 市側出席者	【事務局】小泉中央地域振興政策幹、内藤地域内分権推進担当係長、大滝中央地域担 当主査、片山地域内分権推進担当主査
6 公開・非公開	公開 ・ 一部公開 ・ 非公開
7 傍聴者	0人 記者 0人
8 会議概要作成年月日	令和2年1月8日

協議事項等

1 開会

2 会長あいさつ

3 協議

(1) 地域協議会の見直し(案)にかかる意見書に対する回答について

事務局より回答書を基に説明

(会長) ただいまの事務局からの説明に対し、何か意見はあるか。

→意見なし。

(2) 第二次上田市総合計画「地域の特性と発展の方向性」の見直しについて

中央地域担当より資料を基に説明

(会長) 前回の続きを協議したい

千曲川をはじめとする神川、矢出沢川などの水辺空間や特色ある景観である染屋台の斜面樹林などの河岸段丘を保全して、豊かな自然を活用し、市民に憩いと潤いを与える地域づくりについてだが、これは、地域協議会でも審査したわがまち魅力アップ応援事業の採択のもの。押出川流域自治会連合会事業は、今後も継続されていく事業となるが、ホテル見学の環境は整ってきているか。

(委員) 範囲も広がってきている。ただ、年によりホテルの発生数が違い、台風などの影響で流されてしまったりするので来年度発生するか、心配はある。

(会長) 花と緑があふれる歩いて楽しい空間の創造についてはどうか

(委員) 花と緑のまちづくりコンクールは中央地区の応募はあったが受賞までには至らなかった。

(委員) 自治会で苗をいただき育てているが、自治会内の協力者が少ないため、継続が難しいように思う。

(委員) 商店街でいただき、各店舗前に各自植えていただいているが、手間はかかる。出来るところ出来ないところがある。

(会長) 継続させてしっかりと経過を見ていただきたい。スイスやドイツも花を配るが、植える場所を決めている。バルコニーなど外に向けて飾るというルールがある。住民のみんなで行っている。住民の一人が行うところもあれば、組織で行っているところもある。

(委員) 自治会の老人会が行っているが、手入れが大変。

(会長) 出来る人が減っている。配るのは良いけど、自治会の現状を見ていただきたい。声をあげながら継続させていただくということで良いか。

(委員) 電線地中化などにより上田東高校、鷹匠町のあたりは、景観がとても綺麗。電柱がないだけで環境にも良い事がわかる。台風などの影響もあるので地中化事業を推進していただきたい。そのようなことも盛り込んでいただければと思う。

(会長) 子どもたちに自然を大切にすることを教えることができる環境をつくるについてはどうか

(委員) 押出川では子どもたちとカワニナを逃がしたり、植樹をしたりしている。愛宕町では、子ども探検隊を行っている。出来るところで広げていけばよいと思う。

(委員) 基本的にはPTA・分館で行っている。内容は毎年変わるが、どこの自治会でも行っていることだと思う。分館の日帰り旅行なども自然と触れ合う良い機会になっている。

(委員) 自治会で頑張っているという企画して活動しているということも、総合計画の評価として挙げて良いのですか。市の計画としてはどうか。

(事務局) 政策企画課に確認したところ、行政面の評価と同時に住民目線の市民感覚でどう思うかもあるので、市民団体の行事なども入れていいと。行政だけの判断で決めるということではない。

(委員) そうなると自治会で頑張っていますという表現でよいのか。

(事務局) わがまち魅力アップ応援事業の採択内容も一つの実績として考えてよいとのこと。行政面の視点と住民の視点、両方合わせたものということになる。

(会長) 評価としては各自治会が行っていることもあるので、今後の視点・課題となると、各自治会が行っていることも含めるならば、中央公民館で取りまとめ、共有していただければと思う。PTA や分館となると公民館が繋がっていると思う。

(委員) 川遊びとあるが、学校の方からは川へ行くのを禁止している。川遊びは昔とは変わってきている。自治会では野菜作りを行っている。

(会長) 川遊びにこだわらなくてもよいのではないか。そのような各自治会で行っていることを、公民館で取りまとめていただければと思う。

(会長) 保健福祉施策や子育て支援施策の推進などの項目についてはどうか

(委員) 上田市は医療体制が遅れている。

(委員) 重篤な病気になると上田市では行く病院がない。松本の信大か佐久まで行かなければならない。高度な医療の病院をとという声はあがっている。

(会長) 救急車が到着して出発までの時間が長い。受入れ先を探している時間もどかしい。

(委員) 医療センターへ搬送されたが、結局佐久へ転送され亡くなった話を聞いた。直接佐久総合病院へ搬送されていれば助かったのかと思うこともある。

(会長) そのような話がたくさんあり、住民は不安になっている。高齢者も病院へ行くのが大変な中、往診があればよいと思う。現在、上田市の在宅死率は 20%以下。在宅支援が連携されていないため、デイサービスの施設も減ってきている。すぐ施設に入ってしまうから、在宅支援がされていない。医療体制も見守り体制もどうしていくのか問われている。安心できる医療体制をつくってほしい。往診を検討してほしいという文言を入れてほしい。

(会長) 子どもがのびのびと成長できて…の項目についてだが、各自治会で支えあいマップが出来ていると思うが、活用しているか。

(委員) 自治連や民生委員と話し合ったりもしたが、しっかりとできている自治会はないのではないかな。自治会と本人とその周りの人で支えあう約束をするもの。助けに行けなかったとしても契約違反でないということではあるが、助けにいく約束をするということは縛られてしまうことになる。個人情報のあることもある。支えあいマップではなく、防災マップということできりあげた方がよいのではないかなと思う。支えあいマップにより動けない人を助けるということは理想ではある。

(委員) 班などの小さな単位で共有している。

(会長) 支えあいマップは実働としては弱いということを課題としてあげていただきたい。地区社協組織の充実は各自治会でできているということで良いか。

(委員) 支えあいマップに関しては、地図上でのお年寄りの把握などが出来ればよいという事か。

(委員) 長野市のある地域での防災マップは、近所で 4, 5 件声を掛け合うとなっていたようだが、そのような事例も参考にしていけばよいのではないかな。

(会長) その地域は実際に避難訓練をよく行っていた地域。川が氾濫する想定をしていた地域である。

(会長) 高齢者等の見守りネットワーク会議は行っているのか。

(委員) 行っていないのではないか。

(委員) 自治会の役員で高齢者宅を訪問しようという話もあったが、実現しなかった。

(会長) 独居老人が4件ほどあるが施設入所へという声が多い。見守りをする前に排除の傾向がある。誰が音頭をとるのかわからない。課題としては、見守りができていない。独居老人を支えるネットワークがまだできていない。

(会長) 地域コミュニティを中心とした協働による地域を誇れるまちづくりについてはどうか

(委員) 自治会では資料を持ち寄って発表会を行うなど、まちの歴史の勉強会などを行っている。

(委員) 自治会では、分館主催で文化祭を行っている。木彫りや絵葉書など。隠れた才能をお持ちのプロ並みの作品が多く充実している。特に書道・写真・絵がすばらしい。楽器愛好会、歌の仲間、演芸などの発表の場でもある。

(会長) 自分たちの地域の中で、文化交流を基にした地域住民の交流を目指していくには、どう分館活動を生かしていくかを議論することが課題。分館長にしっかりと伝え、活動の幅を広げてほしい。

(会長) 産学官連携支援施設や伝統工芸など地域の特性を生かした産業の振興についてはどうか。

(事務局) AREC 関係ですが、信州大学繊維学部の地元企業連携における次世代の創出プロジェクトなどの活動が行われているものを一言で示したものを。北国街道と柳町が連携した発酵祭りについても実績の一つとして挙げていければと考えている。中央地区は上田市全体のもものと重複してしまう。5大学リレー講座 2019、上田地域産業展など市全体に係るものですので、中央地区の進捗状況として入れて良いものなのか迷うところがある。

(会長) どこが中心になって動いたかによるかと思う。自治会なのか市の事業なのか。今後発展させていくものはあるのか。

(事務局) 発酵に関しては公民館も関わらせていただいて今後も発展させていければという思いはある。

(委員) 参加者を募集して味噌づくりを公民館で行っている。神川小学校・清明小学校・傍陽小学校でも行っている。

(会長) 産学官に関してはどうか。連携をしていかなければならない。

(事務局) 岡崎酒造と信大繊維学部の連携をしている。発酵祭りも連携している。

(委員) AREC とはどのようなことを行っているのか。

(事務局) 地元企業との連携で次世代の産業プロジェクトを行っている。

(委員) 具体的な成功例はあるのか。信大の繊維学部の軍手はそうなのか。

(委員) 学生が生み出すものに地域も協力できればよい。産学官に繋がるのではないか。

(会長) 今後の課題としては、内容をはっきりと説明していただき、産学官のシステムづくりをしていただきたい。

(委員) こっぴ人形講習会の実施とあるが、実施されているのか。

(委員) 始まったばかり。11/30～。松尾町・原町・海野町で全国から集めた。サントミュージゼが企画をして、各店舗に飾ることとなり、大変評判がよい。2月末まで行方。これから結果が出てくるのではないか。

(事務局) いただいた意見をまとめ、次回お示しします。

(3) 中央地域の地域課題について

【テーマごとに分かれて意見交換】

○第1分科会：「交通問題について」

意見書(案)に記載する内容について協議した。

以下、委員からの主な意見

「意見書(案)」についての最終内容確認。

案の内容で進めるが、各自再度内容を確認し、次回会議にて最終調整することにした。

・意見提出する内容は、意見書(案)のとおりでいい。

○第2分科会：「空き家・放棄地問題について」

小林分科会長の進行により、「意見書(案)」についての内容確認を行った。

特段の修正箇所等もなく、案の内容で進めることで合意を得た。

○第3分科会：「ゴミ問題について」

「意見書(案)」についての最終内容確認。

前回に出された意見により修正した個所の確認をし、この(案)が確定内容として合意した。

(4) その他

上田中央地域協議会だよりの発行について

4 その他

当面の日程

- ア : 令和2年1月16日(木) 13:30から (会場: 中央公民館 3階 大会議室)
- イ : 1月27日(月) 13:30から 意見書(提言)の提出 (会場: 市役所)
- ウ : 2月5日(水) 13:30から (会場: 中央公民館 2階)
- エ : 3月13日(金) 13:30から (会場: 未定)

5 閉会